

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査書)
【連携事業】

幹事市町のみ

幹事市町

下野市

※事業主体が地域づくり団体等の場合のみ記載すること。

構成市町

下野市・上三川町・壬生町

事業名

広域公共交通でつなぐ地域の宝(人・観光・健康・仕事)1市2町連携プロジェクト事業

事業主体の名称※

代表者の名称※

事業主体の所在※

事業主体の概要

・団体の目的:
・設立年月日:
・構成員等:

当該事業に係る地域の現状と課題

東京都心から80km圏内にあり、1市2町それぞれが地域特性や強みを有するものの、小規模自治体であり、単独で地域外に向けた積極的な施策を打ち出しても根本的な課題解決につながりにくい現実がある。各市町単独ではポテンシャルを十分に発揮することが困難であり、国内外から人呼び込む仕掛けや転出入等の人の流れを変える仕組みを行うには限界があることから、1市2町が縦割りの壁を越えて連携し、エリア全体で一体となって地方創生の実現に向けた施策を推進することが求められている。
また、2015年から2040年までの75歳以上人口の増加率(社人研推計ベース)は、下野市66%、上三川町83%、壬生町45%と、いずれも全国平均値の35%よりも際立って高く、エリア全体で急速な高齢化が進むこと。また、若者に目を向けると、2010年から2015年にかけての20代の移動数について、栃木県全体では5,989人と転入増であるところ、下野市、上三川町、壬生町については、エリア全体で合計385人の転出超過となっている。これらの構造問題に対処するため、若い世代層の移住定住促進に加え、アクティブシニアが生活しやすく、生涯活躍できるまちづくりを行うことが、1市2町共通の課題となっている。
地理的にまとまり、東京圏や宇都宮市と鉄道でつながる優位性がある一方で、広域連携バスの実証運行が開始するまでは1市2町を東西につなぐ地域交通がなかったため、自家用車を使用しない域内住民にとって、質の高い生活を実現する隣接市町の資源・施設を日常的に利用しにくい環境となっていた。さらに、東京圏在住者や外国人旅行者等にとっても、鉄道駅からの移動手段が確保されないため訪問・滞在に結びつきにくい環境となっていることから、エリア内の鉄道交通及び各資源を東西につなぐ仕組みづくりも引き続き検討が必要である。

事業目的

1市2町の資源を活かした一体的な魅力・情報発信等により、認知度不足を克服するとともに、南北を縦断する鉄道(JR・東武)と東西を横断するバスの接続を通じた圏域公共交通網の形成により、東京圏等からの鉄道利用観光客の増加、域内周遊・滞在の促進、消費の拡大を図り、圏域全体の経済好循環を創出する。

事業概要

地方創生推進交付金事業と連携して持続可能な公共交通の形成のため、デマンド交通相互利用環境を整備したほか、広域連携バスの地域住民へ固定客の確保に繋がる効果的な周知・利用促進に繋がる事業を実施した。

【実施内容】④～⑥は推進交付金対象事業
①R3年10月から1市2町デマンド交通相互利用開始
②令和4年4月からのデマンド相互利用乗継スポット新設
③広域連携バスの実証運行(地方創生推進交付金対象外事業)
④広域連携バスマップ配布(利用促進ダイヤ改正)
⑤1市2町プロモーション事業
(プロモーション冊子10,000冊、各市町デマンド交通・広域連携バス利用促進動画等5本作成。
冊子内QRコード読みで動画に遷移)
⑥デマンド相互利用認知度アンケート調査
⑦ラジオ、WEB等で広報

事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI

(下野市)
【基本目標2】東京圏からの新しいひとの流れをつくる
【数値目標】転入者数 2,339人(H30) → 2,572人(R6)
観光入込客数231万人(H30) → 271万人(R6)
(上三川町)
【基本目標2】魅力ある"かみのかわ"への新しい流れの創出
【数値目標】社会増減数 -5人(H30) → 0人(R7)
(壬生町)
【基本目標2】壬生町への新しいひとの流れをつくる
【数値目標】観光客入込数 3,709,996人(H30) → 5%増加(3,895,496人:R7)
転入者数 1,350人(H30) → 5%増加(1,417人:R7)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
	広域連携バス実証運行		広域連携バス本格運行	広域連携バス本格運行	
事業費	26,400,000	18,838,144	18,838,144	64,076,288	18,838,144
市町支出金 (ソフト事業分)	19,633,574	0	0	19,633,574	0
うち県交付金	7,924,090	0	0	7,924,090	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	6,766,426	18,838,144	18,838,144	44,442,714	18,838,144

幹事市町担当情報

担当課(グループ・係)名	下野市安全安心課
担当者名	小野 洋一
電話	0285-32-8894
FAX	0285-32-8609
E-mail	anzenanshin@city.shimotsuke.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	下野市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	広域公共交通でつなぐ地域の宝(人・観光・健康・仕事)1市2町連携プロジェクト事業	
対象年度	3	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
運賃収入等	6,766,426	運賃収入、広告収入
市町負担金	19,633,574	下野市11,308,939円 上三川町2,886,135円 壬生町5,438,500円
計	26,400,000	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
運行委託料	26,400,000	19,633,574	7,924,090	6,766,426	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	26,400,000	19,633,574	7,924,090	6,766,426	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(連携事業支出整理票)

単位事業名	広域公共交通でつなぐ地域の宝(人・観光・健康・仕事)1市2町連携プロジェクト事業
-------	--

対象年度	3	年度
------	---	----

科目	精算額	下野市支出額		自主財源等	上三川町支出額		自主財源等	壬生町町支出額		自主財源等	◎◎市町支出額		自主財源等
			県交付金			県交付金			県交付金			県交付金	
委託料	26,400,000	11,308,939	3,000,000	3,897,462	2,886,135	1,924,090	994,664	5,438,500	3,000,000	1,874,300			
計	26,400,000	11,308,939	3,000,000	3,897,462	2,886,135	1,924,090	994,664	5,438,500	3,000,000	1,874,300	0	0	0

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。